



8 2022

発行所 大阪府中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」があります。〈無料〉 ※ご希望の場合は下記まで申込み 「点訳版(点字本)」 時報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-34-4228

☆ 和歌山紀北教会献堂式 (2面) ☆ 警備式大阪北地区姫路中戸かわち区 (3面) ☆ ラジオ信の時間シラフアンニテラ神交 (4面) ☆ カトリック中学校・高等学校入学案内 (5面) ☆ 平和旬間行事案内 (6面) ☆ 新しくなる典礼 (6面) ☆ 生きる―難民移住者 (6面) ☆ 図書紹介 (7面) ☆ 図書紹介 (7面) ☆ jho@osaka.catholic.jp

『時報』原稿・資料等の締切は前々月末です。



大阪教会管区司牧者研修会 現代社会と向き合いながら 福音の精神を生きるために

3年ぶりとなった大阪教会管区(名古屋・京都・大阪・広島・高松各教区)司牧者研修会が、サクラファミリアを会場に、6月14・15日の両日、約120人の参加者で行われた。

国際経済が専門で信徒の濱矩子氏(同志社大学大学院ビジネス研究科教授)から「21世紀の地球経済と愛の讃歌としての経済活動をどう確立するか」をテーマに、成井大介新潟教区司教(カリタスジャパン担当)から「教皇フランシスコの呼びかけを司牧者としてどのように実践するか」貧しい人のための「貧しい教会」をテーマに、それぞれお話しいただき、グループ



成井大介司教(新潟教区)による講演

で分かち合いを行った。経済学の父と呼ばれるアダム・スミスの「他者の喜びを喜び、他者の悲しみを悲しむ人びとの営みなり……」という考え方を元にした「濱矩子の経済活動三原則」として「経済活動は人間を幸せにできなければならぬ・不幸にしてはならない・人権を侵害してはならない」の説明は、参加者にこれまでになく新たな視点を与えてくれるものであった。また、第2バチカン公会議閉会後に司教40人が行った『カタコンベの誓い』の説明を皮切りに、2015年のシリア難民受け入れにあつたのヨーロッパの教会の状況を実例としてあげながら、教皇フランシスコが「貧しい人々のための貧しい教会」について語った成井司教の話からは、日本においてもケアの文化を創り上げていく希望と課題を感じ取ることができた。懇親会も含めて、司牧者たちが初めての出会いや再



司牧者による小グループでの分かち合いの様子

会を喜ぶことができた2日間であった。「2年半ぶりに新幹線に乗りました」「司牧者同士の集いを持つことができて嬉しかった」という参加者の声があり、「1泊2日では短すぎた」「1回の分かち合いでは話しきれなかった」という声も多く聞かれた。「現代社会と向き合いながら福音の精神を生きるために」という研修会の副テーマをしみじみと味わいながら、参加者はそれぞれの現場に戻ることができた研修会となった。

少なく、きっかけ作りの難しさを感じたという声があった一方、集まって祈りのうちに意見を分かち合うことの大切さが改めて示されたこと、回答者の教会への愛情が伝わってきて希望を新たにできた、といった声もあった。

その後、教区の今後の取り組みへの提案について、グループに分かれて検討した。グループは「今までの交わり」「外部との交わり」「これからの交わり」の3つの観点で分けられ、各グループからの発表を最後に行った。

初めて出会う評議員も多い中、グループに分かれる時にはシノドス担当チームの皆様が入ってくださったこともあり、リラックスした雰囲気と共に祈りつつ、率直な意見交換がスムーズに行えたと思う。結果として、これからの教会のための多くの提案を分かち合うことができ、教区として推進する取り組みについて検討するための豊かな糧にもなった。

なお、今回は特に、主が共におられることを強調するために、会議室の中央に聖書とろうそくを設置し、はじめの祈りの時に朗読と点灯を行ったが、神様の御旨を求めて集まるといふ教会の基本的な姿勢が全体に伝わったのではないと思う。

ご参加くださった皆様、今回ご協力くださったシノドス担当チームの皆様へ深く感謝しつつ、これからも教会のあらゆる活動の中に主が共におられることを忘れず、いつも祈りの精神によって働くことを心がけたい。

(文 教区宣教司牧評議会 担当司祭 大久保 武)

第19回 教区宣教司牧評議会 いつでもキリストを中心に

各地区の信徒代表者の定例会議である本評議会。6月26日(日)14時、教区本部事務局に29人が集まり、シノドス(世界代表司教会議)への教区の取り組みについてふりかえり、分かち合った。

今回は、福音化本部・新福音化委員会から「シノドスの意見聴取担当チーム(以下、シノドス担当チーム)」のヌノ・デ・リマ神父およびメンバーが来られ、意見聴取のまとめと感想を伺った。感想の中には、若年層や外国籍の人びとからの回答が



▲会議室の中心に置かれた聖書とろうそく